

一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 2020年度事業計画

事業計画	
申請事業名	水上バイクを用いたレスキュー法の公務救助機関と民間(シーバード)団体への普及と指導
支援の柱	海の安全・環境をまもる
事業目的	<p>海に囲まれるわが国において、毎年、海等での痛ましい事故が後を絶たない状況において、危険への不安感が一般市民の海離れを進めている中、安全確保の体制と水難救助スキルを成熟させる事で安心して海に訪れやすい環境を構築していく事を目指します。</p> <p>一般船舶では水域内での直接的な対応が難しく、人力だけでは対応が困難な事象が多い中、水上オートバイを使った安全パトロールや救助法は直接的なアプローチが可能で様々な場面において最も対応に優れています。</p> <p>実務として救助活動を行う公務救難機関に水上オートバイを使った救助法を指導普及すると同時に、シーバードプロジェクトにより配置された各拠点のメンバーにも指導普及し官民の協力体制を構築していきます。</p>
事業目標	<p>(1)1年後の事業完了時点の到達目標 水上オートバイレスキュー法資格講習会を年間30回実施 水上オートバイレスキュー法実務訓練を年間120日実施 水上オートバイレスキュー法実務訓練に累計360名の参加者を目指す 水上オートバイレスキュー法資格講習会へシーバードプロジェクト各拠点の9割の受講を目指す 全国の有資格者が集まり技術的なミーティングと懇親を目指す施策を年間2回実施</p> <p>(2)目標到達を測定する際の根拠 資格発行数を記録する 実務訓練実施表を作成する 実務訓練参加者数を記録する ミーティング実施レポートを記録</p> <p>(3)目標達成することで期待される効果 資格講習会の実施することにより公務救難機関従事者の統一されたメソッドの実現を行い、資格の付加価値が高まる。 また、シーバード(民間)も同技術を身につける事で官民の連携を強化に繋がる。 実務訓練により実践的なスキルを高め、官民が合同で参加することにより連携と協調を具体的に構築出来る。 ミーティングを実施することにより、講習会を受講した際の時差により生じる技術の進歩の差を無くし統一した認識の元、協調活動が出来るようになる。 実務として救助に当たる公務救難機関従事者に高い水難救助スキルを提供し海の安全のベースを作る事が出来る。 シーバード(民間)においても活動に際しての自身の安全確保と高い技術を裏付けとした水上安全活動が出来るようになる。</p> <p>(4)本事業を次にどう活かすか 官民が連携した海(水域)の安全事業を構築する中で、水上の警備安全保障を産業として勃興し、市民が安心して海に触れることが出来る社会をつくる。</p>